



WINDOW

2024年度
研修員がやって
来ました!!



ブラジル



フィリピン



パラケアイ



アルゼンチン

2024
Autumn
No.81

- 当協会実施事業の紹介
 - 高知県海外技術研修員、協力交流研修員の紹介
 - 高知県韓国全羅南道学生交流プログラム
 - 日本語教室の活動について
 - 日本語ボランティア養成講座スキルアップ研修
 - 高知県e-ラーニング紹介
 - 災害時外国人支援セミナー
 - やさしい日本語セミナー
 - 多文化共生出前講座
 - 新スタッフ紹介
- INFORMATION BOARD
 - 外国語でおしゃべりセッション
 - 土佐弁YouTube
 - JICA紹介



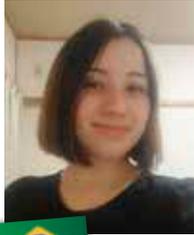
高知県海外技術研修員、協力交流研修員の紹介

高知県国際交流協会は、高知県からの委託を受け、毎年世界各国から研修員を迎え入れています。今年はブラジル、パラグアイ、アルゼンチン、フィリピンから4名が来日しました。

県内の職場で専門分野の研修に取り組んでいます。

また、研修員たちが地域の皆さまと交流し、各国の文化や習慣を紹介する講座を企画・開催しています。

学校や地域で文化交流を希望される方は、ぜひご連絡ください。研修員たちは皆さまと出会い、学び合うことを楽しみにしています。



高知県海外技術研修員

OKAHAYASHI ROSCHEL NATTALY LYE
(ブラジル)

- 研修内容: 貿易事務
- 現在の職業: 弁護士
- 研修先: 日本通運株式会社 四国支店 高知営業課

日系何世ですか？ 日系三世

1世は高知県のどこの出身ですか？ 土佐市高岡郡北原村出身

研修プログラムで学びたいことは何ですか？ この研修で、貿易、その地域を取り巻く法律、輸出入のすべて、物流、日本企業の仕組み、日本のビジネスマナーについて学びたいです。また、日本語のレベルアップにも取り組みたいです。

日本での生活で一番驚いたことは何ですか？ 最も驚いたのは日本人たちの自立心です。日本滞在中、日常生活、考え方、習慣など様々なことに驚きましたが、一番驚いたのは、毎日一人で歩いて通学する子ども、自転車で通学する学生、映画館やレストランに行くなど一人で行動を楽しむ大人、様々な趣味に没頭する大人など、日本人は幼い頃から、自立する能力を身に付けているということです。それを間近で体験することで、戦後の日本がどのように再建され、どのような構造になっていったのか、また日系人とその子孫がラテンアメリカでどのように進化し、繁栄していったのかをより理解することができました。

日本での体験を通じて、他の人に伝えたいことは何ですか？ 私のアドバイスは、国や人々について聞いたことに固執せず、自分なりの意見を持つことです。日本では、誰もが正しいことをするわけではなく、誰もが冷たいわけでもなく、誰もが歩くステレオタイプでもありません。伝統が色濃く残り、古いものと新しいもの、伝統と現代性が混在する、古くからの文化を持つ素晴らしい国だと思います。寺院や建物、清潔で整理された通りなど、私たちが目にするものはすべて、私たちの祖先が経験したのと同じ、規則正しい文化の結果であり、毎日、別の文化や社会について学ぶのは楽しいことです。

自由に自己紹介してください こんにちは、26歳のナタリです。曾祖父と祖父が高知県出身です。貿易についての研修をするためだけでなく、地元の文化や日本をもっと知りたい、何度でも旅行したい、おいしいものを食べたい、新しい経験をしたい、という思いで高知に来ました！



高知県海外技術研修員

HATANAKA MIABI
(畑中 雅) (アルゼンチン)

- 研修内容: 建築技術
- 現在の職業: 建築家
- 研修先: 株式会社若竹まちづくり研究所 龍馬デザイン・ビューティ専門学校



日系何世ですか？ 日系三世

1世は高知県のどこの出身ですか？ 大方町出身

研修プログラムで学びたいことは何ですか？ 日本の建築について学びたいです。家の建て方だけではなく、設計においてアイデアを形にするプロセスについても知りたいです。

日本での生活で一番驚いたことは何ですか？ 日本の尊重の精神にとっても驚いています。ゴミの出し方から交通安全まで、すべてにおいてです。道を歩く時の安心感や、落ち着いて暮らせる環境にも驚きました。

日本での体験を通じて、他の人に伝えたいことは何ですか？ アルゼンチンと日本の文化の違いについて伝えたいです。日本での研修や生活から学んだことや、そこで楽しんだこと、日本の尊重の精神について、アルゼンチンの生活の質を向上させるために伝えたいと思います。

自由に自己紹介してください 私は好奇心旺盛で新しいことを学ぶのが好きです。新しい経験に常にオープンで、文化とのつながりを深めたいです。自分のルーツだけでなく、高知の人々ともつながりたいです。社会的で食事に出かけるのが好きなので、高知で新しい友達を作り、新しい経験をしたいと思っています。



高知県海外技術研修員

WADA YAMAWAKI MONICA AYUMI (和田 あゆみ)
(パラグアイ)

- 研修内容: 工芸品のマーケティングおよび経営
- 現在の職業: ハンドメイド作家

日系何世ですか？ 日系二世

1世は高知県のどこの出身ですか？ 四万十町(十和村と大正町)

研修プログラムで学びたいことは何ですか？ この研修では高知の伝統のある土佐和紙を作っている会社で物作りのプロセス(企画から商品展開、販売まで)を学べたらと思っています。

日本での生活で一番驚いたことは何ですか？ 今は梅雨で雨の日が多いですが、晴れた日の日中はパラグアイより眩しく、夜も変わらず暑いのにびっくりしました。(パラグアイは夜には少し涼しくなる気がします)。そして自転車移動の人が多くことに驚きました。

日本での体験を通じて、他の人に伝えたいことは何ですか？ 研修先での学びはもちろん、高知の魅力も伝えられたらと思います。

自由に自己紹介してください アニメ、マンガ、クラフトが好きです。どちらかと言えばインドア派ですが、高知では外に出て色々なことを体験したいと思っています。



高知県協力交流研修員

TANGEC JUNOFRE SATURNINO (フィリピン)

- 研修内容: 農業技術
- 現在の職業: 農業研修生



研修プログラムで学びたいことは何ですか？ 日本

の農業技術、青果物の販売システム、農場から消費者までの青果物の鮮度維持のプロセスや方法について学びたいです。

日本での生活で一番驚いたことは何ですか？ 生活費が高いことです。

日本での体験を通じて、他の人に伝えたいことは何ですか？ これから受ける研修の他に、日本の文化や伝統についても伝えたいです。

自由に自己紹介してください 私はあまり多くを語るタイプではありません。探検家、冒険家、自然愛好家です。バスケットボール、バレーボール、総合格闘技、ボクシングなどのスポーツ観戦が好きです。

高知県韓国全羅南道学生交流プログラムにて、 麗川高校の学生をお迎えしました！

この交流事業は、高知県と友好交流協定を締結している韓国全羅南道との絆を深めることを目的として、平成28年から隔年で両県道の高校生を交互に派遣する形で始まりました。今年度は、令和6年7月28日から8月3日までの期間に、韓国の麗川(ヨチョン)高校から学生6名と引率者1名、そして全羅南道庁職員2名の計9名をお迎えしました。

高知県と全羅南道の交流のはじまりには、「木浦(モッポ)の母」と慕われた田内千鶴子さんの功績があります。田内千鶴子さんは、韓国南西部の木浦市にある「木浦共生園」で、3,000人もの孤児たちを育て上げました。田内千鶴子さんの記念碑建立をきっかけに始まった両県道の友好交流をもとに、両地域の観光、文化、産業分野へと交流を広げ、2016年10月には、包括的な「日本国高知県と大韓民国全羅南道との姉妹交流協定」締結につながりました。このプログラムは、田内千鶴子さんの精神を次世代に伝えることも重要な目的としています。

7月29日から31日にかけて、訪問団は県内の複数の高校や県立大学を訪れ、学生たちと文化交流やレクリエーションを通じて交流を深めました。後に麗川高校の学生が、「人と人が仲良くなる際には、言葉や文化の壁は関係ないことが分かった」と語るなど、日韓の学生たちにとって非常に貴重で意義深い経験となりました。

その後は、いの町紙の博物館での紙漉き体験や高知城や牧野植物園などの観光地を訪れ、高知県の歴史と文化に触れました。

また、田内千鶴子さんの記念碑を訪問し、その功績に敬意を表して献花を行ったことは、訪問団にとって非常に意義深いものでした。

8月2日には県庁で報告会を行い、学生たちが、言葉や文化の壁を超えた交流を通じて得た学びを発表しました。

そのなかで今回のプログラムを通して、田内千鶴子さんの精神から受け継いだ友好と協力の意志の重要性を再確認するとともに、「田内先生から始まった交流を、どんどん拡大していきたい、高知と全羅南道の交流をさらに活性化したい」という思いを語ってくれました。

本年度も多くの方々のご協力をいただき、無事に交流プログラムを実施することができました。この経験が、将来両県道の架け橋となる人材育成につながることを心から願っています。



麗川高校生の感想

今回の交流プログラムでは、高知と全羅南道の学生たちとの深い繋がりを実感しました。最初は緊張していましたが、たこ焼き作りや書道体験などを通じて距離が縮まりました。特に、日本の部活動の姿勢に感銘を受けました。文化の違いを感じながらも、お互いの理解が深まったことが嬉しいです。これからもこの交流が続き、韓国と日本の架け橋となることを願っています。来年はさらに日本語を学び、恩返しができるように準備したいです。



高知県内の高校生の感想

交流プログラムに参加して、初めて韓国の人と話をしました。私は自己紹介しか韓国語で言えませんでした。韓国の人には日本語でたくさん話しかけてくれてすごかったです。話をしながら日本と韓国の違いも知ることができました。日本の食べ物やアニメをほめてくれてうれしかったです。言葉が通じなくても目を見て笑顔でコミュニケーションをとることが大切だと感じました。初めて日本人以外の方々と交流することができてとても貴重な体験ができました。これからの授業や将来の夢に生かしたいです。



麗川高校生の感想

高知での交流を通じて、多くの新しい経験をしました。田内千鶴子記念碑や牧野植物園など、心に残る場所を訪れることができました。学生同士での情報交換やミニゲーム体験も楽しく、一緒に過ごす時間がとても早く感じられました。日本の文化や食べ物についても多くを学び、自分の地域を誇りに思う気持ちが強まりました。帰国後はカツオのたたきを紹介し、次回の訪問に向けてさらに準備を進めたいと思います。



高知県内の高校生の感想

私は今まで国際交流を一度しか体験したことがなかったので、韓国ヨチョン高校との交流は新鮮でした。交流をする前は、言語の壁や文化の違いでコミュニケーションが取れるのか不安でしたが、実際にしてみると不安はなくなり、自分なりに楽しい時間を過ごすことができました。楽しい時間を過ごしている中でも、言いたいことが伝わらないときがあったので、韓国語の勉強をもう少ししておけばもっと楽しむことができたと思います。この韓国ヨチョン高校との交流会で、これから外国の方と交流する機会があれば言語や文化などの詳しい情報を事前に調べておくことで、より有意義な時間を過ごすことができると学ぶことができました。



日本語教室の活動について 対面 オンライン

対面クラス

当協会の対面日本語教室は在住外国人のみならず、みなさまが安心・安全に高知県で暮らしていただけるよう、生活のための日本語を学ぶ場として1991年（平成3年）度から始まりました。

今年度は「ひらがな・カタカナ」・「入門と初級」といった日本語を学び始めたばかりの方を対象としたクラスを始め、「初級」・「初中級」・「はたらくための日本語」と様々な日本語のレベルやニーズに合わせたクラスを開講しています。

クラスでは日本語を学ぶだけでなく、地域活動として防災学習会や図書館利用学習会など地域と密接に関わりながら生活に役立つ情報を提供しています。7月に第1回の防災学習会を行いました。株式会社フタガミの防災士をお招きし、地震の揺れ体験、簡易トイレの体験等、様々な体験をしました。そして、「災害に備える」とはどのようなことなのか教えていただきました。秋には第2回の防災学習と図書館利用学習会を開催する予定です。

KIAの日本語教室は日本語を学ぶだけでなく、地域住民との交流、防災や公共施設の利用方法等を学ぶなど、セーフティーネットとしての機能もあります。興味のある方はぜひ、KIAまでご連絡ください！

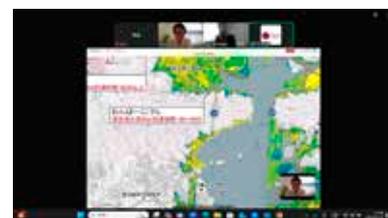


オンラインクラス

コロナ禍で対面での日本語学習が困難になった際の対策、そして東西に広がる高知県の日本語教室の空白地域への対策として、2021（令和3年）年度からオンライン日本語教室を開講しています。今年度のオンライン日本語教室は入門が1クラス、初級が2クラス、全部で3つのクラスを開講しています。少人数で講師が丁寧に習熟度を確認しながら日本語を教えてください。

オンラインクラスでも地域活動として防災学習会や公共施設利用情報の提供として図書館利用学習を行っています。その他、外国人生活相談センター（ココフォーレ）の職員からココフォーレの活動について紹介する回もあります。

7月に行った防災学習では動画を見て災害の恐ろしさを学び、参加者同士で感想や意見を話しました。また、高知県のハザードマップや災害のクイズを通して、災害に備えて何ができるのかを勉強しました。下半期では図書館利用学習とココフォーレの紹介を予定しています。



KIAにほんごクラスと一緒に日本語を勉強しませんか？参加者募集中！
KIAオンラインにほんごクラスは一般財団法人自治体国際化協会の助成を受けて開催しています。



日本語ボランティア養成講座スキルアップ研修

in 高知市及びオンラインZOOM

本研修は県内の地域日本語教室・日本語サロンで活動する日本語ボランティア等を対象とし、自らの活動を振り返りよりよい教室運営や活動ができるようになることを目指し実施しております。今回は講師として、柏谷涼介(かしわや りょうすけ)氏にご登壇いただき、より多くの方に参加いただくため、対面及びオンラインZOOMを活用しハイブリッド式で実施しました。

日時:令和6年1月20日(土) 14:30～17:00

会場:高知県人権啓発センター6階ホール

主催:高知県庁文化国際課

事務局:公益財団法人 高知県国際交流協会



本研修では、テーマを『コミュニケーションを通じて、コミュニケーションを学ぶ』とし、一見ただおしゃべりしているような活動にはどのような意味があるのか、また「おしゃべり」を促進するためにはどのような方法があるのか、実際に体験しながら学びました。レンガを積み立てるような積立式の言語習得よりコミュニケーションに必要な要素である情報差・理由・結果・理由・方法・参加者という5点に注目しながら、知識や素地の部分は後で習得していった方がより効果的であるということを講師の柏谷先生からお話いただきました。楽しいおしゃべりをするなかで、発話調整(やさしい日本語を共通とする等)や、傾聴し相手と自分の立場に合わせられることが日本語学習にとって有効な方法であるということを再確認しました。

高知県e-ラーニング紹介



「高知県の地域日本語教育の体制づくりの取り組み」

高知県では、近年在住外国人が増加し、多文化共生社会づくりが喫緊の課題となっています。県文化国際課では、外国人がどこに住んでいても日本語を学べるよう様々な取り組みを行っています。

まず、外国人が多い市町村で地域日本語教室拡充を重点的に進めています。令和4～5年度には、6つの市町村で教室が開設されました。県は市町村と連携して日本語ボランティア養成講座やフォローアップ研修を実施し、教室開設後も教室の活動を支援します。また、教室でよりよい学習支援ができるよう「高知県版日本語学習支援活動集」という教材を作成しました。

一方、地理的、時間的要因等で地域日本語教室に通えない外国人も大勢います。そこで、教室に行けない人も日本語が学べるように、令和6年度からeラーニングを活用した日本語教育を開始します。

今後も高知県は「グローバル高知家」を目標に、日本語教育の推進による県民と外国人の共生社会を目指していきます。



災害時の外国人支援セミナー

- 開催日:令和6年1月14日(日)
- 講師:NPO法人 多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 高木 和彦 氏
- 参加者:自治体職員、KIAボランティア、ココフォーレサポーター等19名

災害多言語支援センターの役割を知り、様々な立場の人が災害時の外国人支援について認識を深め、考えるセミナーを開催しました。

はじめに、県文化国際課川谷企画監から県が実施している外国人支援施策と大規模災害発生時に設置される高知県災害多言語支援センターについて説明がありました。

続いて、高木講師による「災害時の外国人支援と災害多言語支援センターの役割」についての講義では、日本語が分からない外国人には、災害時に情報が届きにくいという現状や地理的な要因で外部からの支援が入りにくい高知県では、地元の支援者を育成することが重要などのお話がありました。

その後、参加者は災害多言語支援センターの運営を机上で体験し、被災者役の外国人を相手に災害時の情報伝達を実践しました。



やさしい日本語セミナー

- 開催日:令和6年1月28日(日)
- 講師:一般社団法人 やさしいコミュニケーション協会 代表理事 黒田 友子 氏
- 参加者:学生・自治体職員等33名

災害・医療・行政・介護・外国にルーツを持つ子供とのコミュニケーション等をテーマにやさしい日本語セミナーを開催しました。

黒田先生のお話が大変わかりやすく、やさしい日本語を学ぶのは今回が初めての方からも理解しやすかったとの声を多くいただきました。豊富な実例のもとに様々な場面で役立つやさしい日本語を学ぶことができました。グループワークでは、やさしい日本語の難しさを実感しつつも参加者たちは自由に意見を出し合い、工夫しながらやさしい日本語の書き換えに取り組んでいました。



やさしい日本語セミナー 在住外国人の皆さんへの防災・災害情報提供

- 開催日・場所:令和6年4月3日(水) 高知工科大学
- 参加者:海外からの留学生の皆さん 約20名

高知工科大学に海外から留学生として来高されている皆さんに、大規模災害等の発生に備えた事前の備えや発災後の対応方法等についての説明会を開催しました。

- ① やさしい日本語表記による『南海トラフ地震に備えましょう』を配布
専門用語や漢字等を極力少なくした「イラスト」と「大きなひらがな」で構成した防災パンフレットを活用して、「地震」や「津波」への備えや対応方法について学びました。
- ② 発災時等の混乱期に活用できる『携帯カード』を配布
2つ折りにすることで、「在留カードと同じ大きさ」になる緊急用意意思伝達カードとなっており、カードを提示することで相手側に困っていることを迅速に伝えることができます。
- ③ 我が国特有の地震災害や、本県が予想されている津波被害の規模を理解するとともに緊急時の「避難場所の取り決め」や「備えておくべき物資等」について学びました。



多文化共生出前講座 高知北高校

- 開催日:令和6年5月10日(金)
- 講師:高知県国際交流協会 浜口マネージャー
高知県国際交流協会 外国人生活相談センター(ココフォーレ) 山下相談員
- 参加者:高知北高校 生徒17名、教員4名

高知県内の外国人居住者や、外国人が日本語をどのように学んでいるかについて知り、外国人への理解と関心を深め、国際社会の中でどのように行動するべきかをテーマに、高知北高校の方々をお招きし、講義を実施しました。

講義では、高知県内の外国人居住者を取り巻く環境と、多文化共生を目指した高知県国際交流協会での取り組みの説明、またクイズ形式でのやさしい日本語の紹介を行い、学生たちは熱心に耳を傾けていました。



参加者から、たくさんの感想をいただきました。

- 「やさしい日本語」に深い関心を持ちました。
- 多文化共生について深く知識を得ることができました。
- 英語を話せなくても、勇気をもって外国の人に話しかけてみようと思いました。

新スタッフ紹介

はまぐちげん き
濱口元樹と申します。県庁から派遣され、今年度からマネージャーとして着任しました。前年度までは県が道路を作るための土地を買う業務を担当していましたが、この新しい仕事はまさに「全くの新世界」です。不慣れな業務のなかで、「海外からの研修員の受入事業」などにおいては、学生時代からほとんど使ってこなかった英語を駆使して日々奮闘しています。「多文化共生」という言葉もつい最近知ったばかりですが、その理念と掲げられた目標に触れ、深い感銘を受けています。これからも精一杯努力してまいりますので、皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。



医療機関や県庁での勤務を経て、9月から、事務局次長兼シニアマネージャーに就任した中村一誠なかつむらいつせいです。仕事に役立つかは疑問ですが、個人的には、いろいろな国へ旅行することも好きで、今年は長男がベトナムに赴任していることもあり、家族で旅行してきたところ。ベトナムでは、美しい自然と美味しい食事(特にバイミーは、毎朝ホテルから徒歩でお気に入りの店へ買いに行っていました。)を堪能するとともに、目覚ましい経済発展を象徴するような、行き交う自動車、バイクの波に、高層ビル群などを目のあたりにしてきたところ。日常的にも、街角でみかけることが多くなった高知県における在留外国人の方は、年々増加しており、県民の日常生活などを支えていくうえでも、欠かすことができない存在となっており、国際交流から共生のステージへ着実に移行しているのではないかと感じております。こうした中、微力ではありますが、これまでの経験や協会の資源を活かし、在留外国人と県民の方の相互理解が進み、しいては高知県の発展に少しでも寄与できるように取組を進めることが出来れば幸いです。



3月からKIAのスタッフとして着任しました大内おおうちあや彩あやです。韓国で日本語教師として勤務し、帰国後は高知県内の大学、専門学校等で日本語・韓国語の講師として働いていました。KIAでは日本語クラスや国際ふれあい広場等のイベント開催を担当しています。多文化共生、国際理解の観点から高知県に住む皆様にとって有意義な取組ができるよう精進します。どうぞよろしくお祈りします。



こんにちは!

高知県外国人生活相談センター(通称:ココフォーレ)です。



現在、ココフォーレには相談員3名と通訳・翻訳スタッフ(中国語とベトナム語)2名がおり、高知県に住む外国人や外国人と関わる日本人から生活におけるさまざまな相談を受けています。また、おかげさまで今年の5月31日で6年目を迎えることができ、「母国語で相談ができるのは安心!!」「どんな相談も親身になって聞いてくれる」「日本の制度について理解が深まった」などの嬉しい言葉をいただくようになりました。これからも、「相談」を通して、外国人も日本人も皆が安心して暮らせる社会となるようサポートをしていきたいと思っています。みなさん、個性豊かなスタッフに会いに来てくださいね。

ひろせ
廣瀬



かっとう
甲藤



やました
山下



にゅー
ニュー



ちょう
張



INFORMATION BOARD

外国語(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ベトナム語)で楽しくおしゃべりしませんか？

2024年7月～12月開催

外国語でおしゃべりセッション

毎年大人気のイベント、「外国語でおしゃべりセッション」は希望する言語のグループでフリートーキングをしながら高知で働く国際交流員(高知県・高知市)や高知県受入の研修員(パラグアイ・アルゼンチン・フィリピン・ブラジル)と交流できます。今年度は英語・中国語・韓国語・スペイン語に加え、新たにベトナム語も開催しています。

■開催日 月に1、2回程度(不定期開催)

■時間 15:30～16:30

■場所 当協会ラウンジ

●当イベントは外国人を含む地域住民同士の交流や多文化共生への理解促進を目的としおります。語学力向上のための勉強会ではありませんので、予めご了承ください。



参加費無料!! 申込・予約は必要ありません。開催日時に当協会へお越しください。

土佐弁動画YouTube

事業名: オンライン・ICT等を活用した日本語教室開催事業 日本語(土佐弁)動画作成事業

高知県内の外国人住民のみなさまが安心して生活や仕事ができるよう“土佐弁”の解説など、高知県の役立つ情報を動画にまとめ、配信しています。

【日本語学習教材制作委員会】
高知県文化国際課(国際交流員-CIRを含む)
高知市総務課(国際交流員-CIRを含む)
南国市国際交流協会-NIA(土佐弁解説)
公益財団法人 高知県国際交流協会-KIA
株式会社Story(撮影及び編集)

本動画はSNS等で配信しています！ぜひご覧ください！



KIAのYoutube



JICA 紹介

はじめまして。2024年4月から高知県のJICA国際協力推進員に着任した中原和枝です。

前職はKIAの職員で、多文化共生講座や国際理解講座、南米の日系人研修員に関する仕事をしていました。これからもそのネットワークを生かし、県民のみなさまが世界に関心を持ち、多文化共生社会の推進、国際理解・国際協力をすすめていくお手伝いのできると思っています。世界のことを知りたい、国際協力のことを知りたい、何かできることはある？出前講座を頼みたい！協力隊について知りたい、など、ぜひお気軽にKIA内にあるJICA高知デスクまでご相談ください。QRコードからも簡単にお問い合わせができますので、ぜひご利用ください。

